



2021年3月16日

各位

会社名 株式会社 ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号：9612 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎
(TEL：03-3377-9331 (代表))

株式会社アズ企画設計との業務提携に関するお知らせ

当社は、2021年3月16日付の当社取締役会決議に基づき、株式会社アズ企画設計（代表取締役社長：松本 俊人、本社：東京都千代田区、以下「アズ企画設計社」との間で、東日本大震災の復興支援という社会貢献事業を進めるため、業務提携契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 東日本大震災の復興支援に関して

アズ企画設計社は、主要事業である不動産販売事業で経営基盤を盤石に固めつつも、『空室のない元気な街を創る』という企業理念に沿った、収益改善可能な不動産のバリューアップ、空室の再生、地域の再生、さらには事業・企業の再生を強化しています。東日本大震災で被災した地域の復興のため、復興事業を行う作業員の宿泊施設が広範囲にわたって不足している中、宿泊施設の建設が復興事業を加速させると判断、在来工法と比べて大幅に工期を短縮することが可能なモジュール工法を採用し、2014年より宮城県・岩手県にて宿泊施設を建設してホテル事業を展開しております。本宿泊施設はゆがみにも強い重量鉄骨を採用しており、耐震性・耐久性・遮音性・断熱性に優れ、復興事業を行う作業員向けの宿泊施設として十分な役割を果たしております。

一方、当社は、1970年の創業以来、「食」を中心とする商空間の総合サービスを提供し、飲食業界や小売業界での多くの実績を積み重ね、「商空間創りを通じ、皆の笑顔を創り出すこと」をミッションとし、2020年5月15日に設立50周年を迎えました。現在では従来の枠組みを超え、食に関わる店舗以外にも、物販店、サービス店、アミューズメント施設、病院等のメディカル関係、リゾートホテル、さらには店舗のみならず、商業ビル、物流センター、食品工場などの企画・デザイン・設計・施工・メンテナンスといった様々な商空間の総合サービスを提供している商空間テック企業として、日本国内のほか、タイ、台湾、シンガポール等のアジアにおいても「世界でも期待される企業」を目指し、成長し続けております。

東日本大震災の復興支援として、被災した水産加工場の復旧や被災地域の商業地域の店舗の設計施工を行い、上述のアズ企画設計社の宿泊施設建設にも携わり、本業での役割を果たしてきたことに加え、被災した生産者の方々が本格的に事業を再開し、立ち上がるための支援として、2013年より株主優待を開始し、株主の皆様と共に支援を行ってまいりました。本株主優待は、宮城県女川町をはじめ、石巻市・気仙沼市・亶理町・山元町・仙台市、および岩手県釜石市の生産者の方々の商品をお届けすることで東北地方の魅力を共有していただき、一企業としてのみではなく、株主の皆様とともに東北復興支援の輪をさらに広げていきたいとの考えのもと、当初は4種類であったコースも、魅力的な商品を徐々に増やし、現在では9種類からお選びいただけるようになり、累計約163,000セット（2020年6月30日基準日の株主優待まで）の東北の想いをお届けしております。

また、2020年には、株主優待制度でもご縁のある宮城県石巻市において水産加工業を行っていたマルセ秋山商店の従業員を引き継ぐ形で、当社グループ会社 株式会社ハイブリッドラボを設立し、水産加工業を行いつつ、製造現場の現状を把握しながら、水産加工業における設備の研究やサービス提供を開始しております。



復興作業員向け宿泊施設



当社株主優待品の一例

2. 業務提携の内容

アズ企画設計社の強みである、不動産売買・賃貸・管理等を含めた不動産業務と収益不動産に対するバリューアップの提案力と、当社の持つ店舗、病院、ホテル、商業ビル、物流センター、食品工場などの企画・デザイン・設計・施工・メンテナンスといった様々な商空間の総合サービスをもって協業することで、あらゆる市場ニーズに幅広く対応してまいります。

特に被災地域においては、東日本大震災から10年という節目を迎えましたが、復興に関しては道半ばであり、震災直後に比べて復興に関するニーズは変化してきております。今後は、復興事業を行う作業員向けに加え、この東北の地に観光客を含め、多くの人々が集まるような支援等を両社で共に行っていくために、復興支援第2ステージの第1弾として、SDGsの精神にのっとり、アズ企画設計社が保有している宿泊施設について建築資材の再利用や、施設のリノベーションによる活用を検討してまいります。

10 年間にわたり、共に被災地域において復興支援を行ってきた両社のノウハウを活かし、復興を目指す皆様の「元気」と「笑顔」があふれる街創りに貢献してまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS (SDGs) 11、12

3. 業務提携の相手先の概要

(1)	名 称	株式会社アズ企画設計																				
(2)	所 在 地	東京本社：東京都千代田区内神田二丁目 8 番 4 号 山田ビル 2 階・3 階 本 店：埼玉県川口市戸塚二丁目 12 番 20 号																				
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松本 俊人																				
(4)	事 業 内 容	1. 不動産販売事業 2. 不動産賃貸事業 3. 不動産管理事業																				
(5)	資 本 金	170 百万円																				
(6)	設 立 年 月 日	1989 年 4 月 26 日																				
(7)	大株主及び持株比率 (2020 年 8 月 31 日時点)	<table> <tr> <td>松本 俊人</td> <td>45.22%</td> </tr> <tr> <td>合同会社ヒトプラン</td> <td>21.03%</td> </tr> <tr> <td>古井 力</td> <td>2.62%</td> </tr> <tr> <td>清田 貴臣</td> <td>1.62%</td> </tr> <tr> <td>佐々木 真人</td> <td>1.41%</td> </tr> <tr> <td>西村 静夫</td> <td>1.26%</td> </tr> <tr> <td>藤原 英雄</td> <td>1.00%</td> </tr> <tr> <td>判治 要一</td> <td>0.74%</td> </tr> <tr> <td>中川 修一郎</td> <td>0.69%</td> </tr> <tr> <td>楽天証券株式会社</td> <td>0.64%</td> </tr> </table>	松本 俊人	45.22%	合同会社ヒトプラン	21.03%	古井 力	2.62%	清田 貴臣	1.62%	佐々木 真人	1.41%	西村 静夫	1.26%	藤原 英雄	1.00%	判治 要一	0.74%	中川 修一郎	0.69%	楽天証券株式会社	0.64%
松本 俊人	45.22%																					
合同会社ヒトプラン	21.03%																					
古井 力	2.62%																					
清田 貴臣	1.62%																					
佐々木 真人	1.41%																					
西村 静夫	1.26%																					
藤原 英雄	1.00%																					
判治 要一	0.74%																					
中川 修一郎	0.69%																					
楽天証券株式会社	0.64%																					

(8)	当 社 及 び 当 社 子 会 社 と の 関 係 等	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	当社は、株式会社アズ企画設計より、2020年12月期に原状回復工事を受注しておりますが、金額は少額で軽微であります。	
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
	純 資 産	805,331千円	1,483,406千円	1,496,652千円
	総 資 産	5,257,188千円	6,419,493千円	6,781,679千円
	1株当たり純資産	1,150.47円	1,559.91円	1,573.88円
	売 上 高	6,376,023千円	5,296,866千円	5,509,480千円
	経 常 利 益	352,742千円	247,924千円	48,731千円
	当 期 純 利 益	274,035千円	198,554千円	13,222千円
	1株当たり当期純利益	391.48円	215.68円	13.90円
	1株当たり配当金	—	—	—

※当該会社は連結子会社が存在しないため、単体の数字であります。

4. 日 程

(1)	取締役会決議日	2021年3月16日
(2)	契約締結日	2021年3月16日
(3)	提携業務開始日	2021年3月16日(予定)

5. 今後の見通し

本件が、当社2021年12月期連結業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事実が発生した場合には速やかに発表いたします。

以 上